

ついじべい
築地塀の石積み



京都御所は南北約450メートル、東西約250メートルの築地塀によって囲まれています。上記の写真は、京都御所の南側にある建礼門(写真左)と北側にある朔平門(写真右)です。門としての作りはほぼ同じではありますが、一見して大きな違いがあります。それは門の脇にある築地塀の石積みの高さです。

京都市内は東、西、北を山々に囲まれた盆地で、南に行くほど標高が低くなります。京都御所北側外と南側外では、標高差が2.4メートルあります。その傾斜をなだらかにするため、南側では、1.5メートルの石積みがあるのです。敷地内では土地の傾きを気にすることなく、しかし御溝水や池の流れは自然に南側へと流れるようにと、そこには京都という土地にある御所ならではの、技術の歴史が息づいています。

